

平成20年度京都大学防災研究所一般共同利用研究集会(20K-06)
「台風災害を防ぐー気象学・風工学・土木学・災害学の間に橋を架けるー」
(通称:「台風研究会」)開催案内

台風は最も激しい気象擾乱であり、顕著な災害をもたらします。台風被害の低減のためには、台風の観測・予報精度の向上だけでなく、それと連動した避難誘導の的確な実施や、構造物の耐風・耐水性能の強化等が求められています。この期待に応えるには、理学や工学の枠を越えた学際的な「台風防災学」が必要となります。本研究集会は、諸学問に携わる研究者・技術者が知見を持ち寄り、議論を行うことで、台風防災学構築への一里塚とすることを目的としています。

日時: 2008年12月17日(水) 13:30-17:30

18日(木) 9:30-12:40

場所: 京都大学宇治キャンパス生存圏研究所木質ホール3階セミナー室*

(JR奈良線黄檗駅または京阪宇治線黄檗駅下車、徒歩約10分)

※宇治キャンパス南門よりお進みください。アクセス・キャンパス内地図は

<http://www.uji.kyoto-u.ac.jp/00gaiyo/access.html>

をご覧ください。

講演プログラム

12月17日(水)

冒頭司会 竹見哲也(京都大学防災研究所)

13:30-13:40 趣旨説明

研究代表者 別所康太郎(気象研究所)

座長 別所康太郎(気象研究所)

13:40-14:20 台風に関する予測可能性研究【招待講演】

榎本 剛(海洋研究開発機構)

14:20-14:35 台風特別観測実験 T-PARC の概要

別所康太郎(気象研究所)

14:35-14:50 サイクロン Nargis のミャンマー上陸予測について

中澤哲夫(*)・酒井亮太・小森拓也(気象研究所)

14:50-15:05 T0416 と T0418 の急発達における大気-海洋相互作用の効果

上西未起(*)・竹見哲也(京都大学防災研究所)

15:05-15:35 休憩

座長 林 泰一(京都大学防災研究所)

15:35-15:50 実験で再現するスーパーセル雲底下の多重竜巻

佐々浩司(*)・山崎麻未・竹村早紀(高知大学理学部)

15:50-16:05 CReSS による台風時における最大瞬間風速の推定

加藤雅也(*)・坪木和久・

岩口健司・上園智大(名古屋大学地球水循環研究センター)

16:05-16:20 台風多角形眼のエネルギー解析

中道啓輔(*)・竹見哲也(京都大学防災研究所)

16:20-17:00 最近の豪雨災害情報をめぐる課題【招待講演】

牛山素行(岩手県立大学総合政策学部)

- 17:00-17:15 リスクマネジメントの分野から見た台風研究について
篠原瑞生（東京海上日動リスクコンサルティング（株））
- 17:15-17:30 出雲科学館と小学校・中学校の連携した理科学習
～ 単元名「気象とその変化」及び「流水の働き」への取り組み～
中山慎也（出雲市教育委員会出雲科学館）
- 18:00-20:00 懇親会
場所 京都大学宇治キャンパス生活協同組合食堂
会費 一般 4,000円 学生 2,000円

12月18日（木）

座長 竹見哲也（京都大学防災研究所）

- 09:30-09:45 台風の同位体観測－台風を呼ぶ男
一柳錦平（熊本大学大学院自然科学研究科）
- 09:45-10:00 全球非静力学モデル NICAM によるサイクロン Nargis 発生のシミュレーション
柳瀬 亘（*）・佐藤正樹・谷口 博（東京大学気候システム研究センター）
- 10:00-10:15 ミャンマーサイクロン Nargis の予報実験と POM による
高潮シミュレーション
黒田 徹（*）・斉藤和雄・國井 勝・高野洋雄（気象研究所）
- 10:15-10:30 メソ気象予測モデルを用いた波浪・高潮のシミュレーション
安田誠宏（京都大学防災研究所）
- 10:30-10:45 台風の強度に海面フラックスと混合層が与える影響及び
データ同化手法を用いた海面フラックスの推定について
伊藤耕介（*）・石川洋一・淡路敏之（京都大学大学院理学研究科）
- 10:45-11:00 休憩

座長 佐々浩司（高知大学理学部）

- 11:00-11:15 メソスケールモデルにより計算された台風に伴う強風場の再現性
丸山 敬（京都大学防災研究所）
- 11:15-11:30 雲解像モデルで再現された発達する台風の中心部の構造
日置智仁（*）・坪木和久（名古屋大学地球水循環研究センター）
- 11:30-11:45 温低過程の台風における激しい重力波の発生メカニズム
楠 研一（気象研究所）
- 11:45-12:00 台風に伴う降水の非対称構造について
隈部康晴（*）・林 泰一（京都大学防災研究所）
- 12:00-12:15 Study on Rainband of Cyclone Sidr with CReSS Model
Nasreen Akter（*） and Kazuhisa Tsuboki（名古屋大学地球水循環研究センター）
- 12:15-12:30 2004年9月29日尾鷲付近で発生した集中豪雨の事例解析
－2008年9月18-19日との比較から－
熊本真理子（気象庁高層气象台）（*）・中里真久（気象研究所）
- 12:30-12:40 閉会の挨拶
竹見哲也（京都大学防災研究所）

京都大学宇治キャンパスへのアクセス

交通機関・最寄駅：「JR奈良線・黄檗駅」または「京阪宇治線・黄檗駅」下車・徒歩10分

※JR黄檗には普通電車しか停車しませんのでご注意ください（快速には乗車しないでください）。JR京都駅からの所要時間は25分程度です。

※京阪宇治線には京阪本線からは中書島で乗り換えです。

キャンパス内地図：研究集会会場（木質ホール）へのアクセス



宇治キャンパスは耐震改修工事中のため、立ち入り禁止区域が多数設定されています。そのため、キャンパス内の移動は分かりづらくなっています。木質ホールへは南門から入ってお越しく下さい。